



## 2月の園だより



令和6年2月1日  
ほづみ幼稚園

2月4日は立春です。「春」という言葉を聞くだけで嬉しくなりますね。年長さんが育てているちゅうりっぷの芽も鬼の角のように、によきによき伸びてきています。園では2月2日に「節分の会」を行い、心の邪気を払います。ますますほづみ幼稚園のめざす「美しい心の子」に近づけそうです。伝統行事は大事ですね。ご家庭でも一緒に「節分」を楽しんでみてください。



### 遊びの様子を「すぐーる」でお知らせしています

毎日の遊びが、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、つなぐ・ひろがる・支える」に全てが繋がっています。これが、やがて小学校入学以降の生活科・理科や図画工作、国語、算数などの体系立てた学習の基礎となっていきます。そんな園での姿が、どのような育ちにつながっているのかを分かりやすく紹介しています。

### 瑞穂市青少年育成会議(1月15日)「読書・挨拶のまち瑞穂」の取り組みやの瑞穂市の子供たちについて会議が行われました～地域の皆様にほづみ幼稚園の子供たちも見守っていただいています～

#### \*『読書のまち瑞穂』より読書の大切さ(「ふわふわ言葉とちくちく言葉」のエピソード)

養護教諭の先生を通して、「ふわふわ言葉とちくちく言葉」について取り組んでいます。優しい温かい言葉のふわふわ言葉を見つけたら、保健室前の掲示コーナーの木に花を咲かせています。ふわふわ言葉の花をいっぱい咲かせていきたいと思えます。このように表現する言葉は、120個程度あるそうですが、小学校低学年では、その半分程度しか教科書で学ばないそうです。たくさんの表現言葉を身に付けていくためには、幼児期に絵本を読み聞かせてあげることが大切であり、絵本により、たくさんの表現言葉を学ぶことができそうです。幼児期の絵本の大切さを感じます。

瑞穂市として『読書のまち瑞穂』として取り組んでいるので、ご家庭でも親子で絵本を毎日読む習慣をつけていただけると嬉しいです。

また、3月10日(日)には瑞穂市総合センターで作家 朝井リョウ氏の講演会もあります。保護者の方で興味がありましたら、いかがでしょうか。

#### \*『挨拶のまち瑞穂』より挨拶の大切さ(「挨拶」のエピソード)

瑞穂市青少年育成会議にPTA会長様と参加しました。会議では、市長・教育長・自治会の方々・小中学校の先生方・小中学校のPTA役員の方々・子供たちを見守ってくださっている地域の方々・市職員等々、様々な方々とグループ討議交流会を行いました。その中で、自治会の方から「ほづみ幼稚園に登園する親子さんが、毎日『おはようございます!』と元気よく挨拶してくれるので、とても嬉しいですよ!」と、発表されていました。「素敵なお話ですので、園だよりで紹介させていただきますね!」と約束しました。この場で紹介させていただきます。

見守りしてくださる地域の皆様も、ほづみ幼稚園の皆さんの事を、いつも気にかけてくださっているようで、とても有難く思います。感謝いたします。



### 「保育参観」に来てください

もうすぐ2月の保育参観です。当日は、多くの友達や先生と共に園生活をしてきた中で、考えたり、経験したり、学んだりしたものを発表します。でも、本当は当日までの、失敗したり成功したりの繰り返しや、友達と話し合いながら作り上げてきた過程、ふれあいを見ていただきたいのです。実際にその過程を見ることはできませんが、そのことも感じながら、温かい心で、精いっぱい自分の心や力を発揮している子供たちの姿を認め、誉めてあげてください。

### 心が満たされていれば、心の泉が枯れることはないでしょう

進級、進学を控え、意欲と自覚が一層高まり、期待も大きくなってきていることと思います。保護者の方の中には、いろいろ心配な点はあると思いますが、子供たちには不安になるような言葉がけよりも、

「後少して進級、小学校だね。楽しみだね。」という夢を与える会話を多くしていただきたいと思えます。今、当たり前におこなっていることができているならば、認め自信をもたせましょう。「**幼児期に心が満たされていれば、一生、心の泉が枯れることはないでしょう**」こんな言葉をききました。周りの大人は、常に子供を温かく見守っていきましょう。

### 「バスコースについて」のお知らせ

令和6年度のバスコースは、黄バス2コース・かきバス2コースの計4コースです。

令和6年度4月からのバス時刻表を配布いたしますので、ご確認をお願いいたします。

バスコース変更後のバスバッチの色が変更になりましたら、園より配布させていただきます。

ご理解・ご協力の程、よろしくをお願いいたします。





# 節分



節分には“季節の変わり目”“季節を分ける”という意味があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指します。昔は立春が1年の始まりでした。節分では、鬼（=悪いものや災い）を追い払い、年の数だけ豆を食べて1年間の無病息災を祈ります。

園では、子供が自分のお腹の中に“泣き虫鬼”“おこりんぼう鬼”などの鬼がいないかを振り返る機会とし、節分の行事を楽しみます。各年次、それぞれ工夫したお面を作成し、鬼になりきって豆まきごっこをする姿も見られます。1月17日から園内にもブラブラ鬼が登場！A棟には青鬼、B棟には赤鬼、もう一体は…子供たちが園内中を探し回っていました。どのブラブラ鬼も子供たちが自分で作った新聞の豆で毎日退治中～おうちでも今年はどうのような鬼をどうやって退治するか、相談してみるのもいいかもしれませんね。そして、明るい笑い声が響き心まで休まる、お多福さんでいっぱいのお家庭にしていきたいですね。



## 友達と活動することに「喜び」を感じる2月に



今、子供たちは運動遊びなど自分なりに挑戦を楽しむ遊びと、お話の世界に入り込み想像の世界を楽しむ姿、遊びに必要な物を作りあげることを楽しむ姿などがみられます。

「あんなことがしてみたいな」「～になりたいな・・・」「仲良しのあの子と一緒にやりたい」こんなわくわくした楽しい気持ちの中で、力を発揮し『やったね！』の気持ちを友達や周りの人と共有していくことは、子供にとって大きな力になっていきます。

子供が望んでいることは、大きくいって2つあります。やろうとしたことをのびのびとできる表現する時間。それを「なるほどね」「楽しいね」「うんうん」と共有して受け止めてくれる人～自分の力で、大きく羽ばたこうとしている子供たちには是非、共感のメッセージやプラスの言葉を与えていただけたらと思います。

2月19日（月）年少、21日（水）年中、22日（木）年長の保育参観を計画しています。子供たちにとって『友達と共に活動する喜び』を体験することは、人格の基礎を形成していく過程でとても大切なことです。「チャレンジ遊び」や「劇ごっこ」等の遊びを核にして、『友達と共に活動する喜び』を味わわせていきたいと思っています。



## ～親子で絵本を読んでぽかぽか気分になろう！～



「おおきくなったら」（幻冬舎）  
 「ゆきのひのゆうびんやさん」（福音館書店）  
 「14ひきのさむいふゆ」（童心社）  
 「へえーすごいだね」（偕成社）  
 「ふくはうちおにもうち」（岩崎書店）  
 「おなかのなかにおにがいる」（ひさかたチャイルド）  
 「ないた赤おに」（金の星社）  
 「ツリーハウスがほしいなら」（ブロンズ新社）

作：ふくだとしお・ふくだあきこ  
 作：小出淡 絵：小出保子  
 作：絵 いわむらかずお  
 作：きたやまようこ  
 作：内田麟太郎 絵：山本孝  
 作：小沢孝子 絵：西村達馬  
 作：浜田廣介 絵：いもとようこ  
 文：カーター・ビギンズ  
 絵：エミリー・ヒューズ 訳：千葉茂樹